

Pola-R-CHP療法(2日目にポライビー)を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院: 1病日 /	2病日 /	3病日 /	4病日 /	5病日 /	6病日 /	7~10病日 /	11病日: 退院 /	【退院後の生活について】
達成目標	・治療について理解できる	・有害事象(発熱、嘔気・嘔吐、食欲不振、便秘・下痢、骨髄抑制など)について理解できる ・症状出現時は医療者に伝えることができる				・38.0度以上の発熱がない		・退院指導の内容を理解できる	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活で下肢筋力が低下していますので、歩行時はゆっくり動き、転倒に注意してください めまいやふらつきなどの症状が出現することがあります。体力も低下していますので、無理せず、ゆっくりとした生活を心掛けてください 以下の症状がある場合はご連絡ください <ul style="list-style-type: none"> 37.5度以上の発熱 風邪症状 嘔気・嘔吐 食事や水分が摂れない
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します 	・吐き気を予防する薬を内服します(3日間)		・治療薬として、ステロイドを内服します 1日2回、朝昼食後 (4日間) 					
注射		・点滴をします 	・治療後は点滴を抜きます						
食事	・制限はありません 								
検査	・身長・体重測定	・体重測定(毎日) 							
活動・安静	・制限はありません	・点滴中は安静にお過ごしください		・制限はありません					
清潔	・シャワー浴ができます 	・シャワー浴は治療前までにお済ませてください		・シャワー浴ができます					
説明	<ul style="list-style-type: none"> 入院オリエンテーションを行います 医師が治療の説明をします 薬剤師が、資料を用いて治療(薬剤)の説明をします 本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します 転倒転落予防について説明します がん薬物療法オリエンテーションを行います 							<ul style="list-style-type: none"> 「がん薬物療法を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します 薬剤師が、退院後の薬剤について説明します 	
その他	・同意書は職員にお渡しください	<ul style="list-style-type: none"> 点滴中にトイレに行くときは、治療薬を止めることもありますので、ナースコールにてお知らせください 点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴が入っているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください 						<ul style="list-style-type: none"> 病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います 	
			<ul style="list-style-type: none"> 抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください 						
			<ul style="list-style-type: none"> 嘔気や下痢などの症状があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください 37.5℃以上の発熱を認めたときには抗菌薬の投与を行いますので、すぐにお知らせください 食欲不振時には管理栄養士と相談しながら食べやすい食事を提供しますので、お知らせください 						

【緊急連絡先】

- 診療日時間内(8:30~17:00)
内科外来
:0985-85-9883
- 休診日・診療日時間外
5階東病棟
:0985-85-1789

